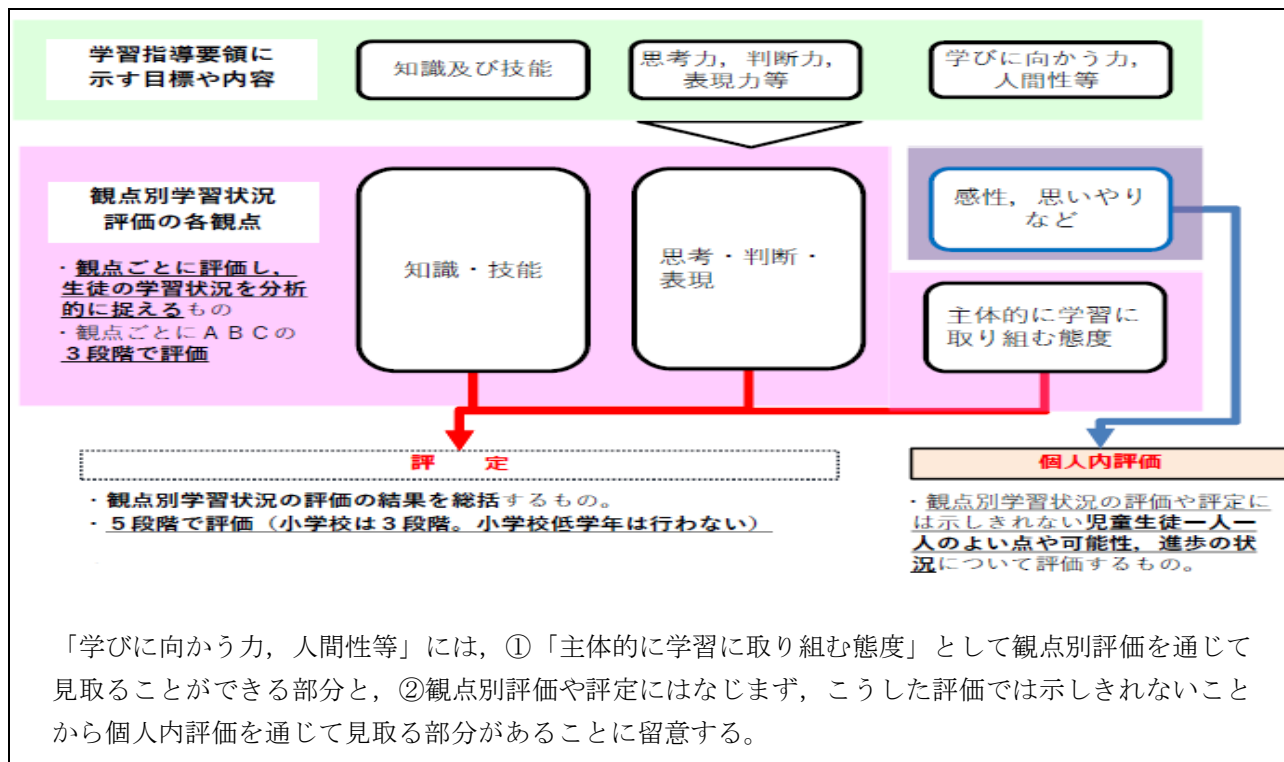


評価規準・評価基準の具体例作成にあたって

① はじめに

「児童生徒の学習評価の在り方について」（平成 31 年 1 月，中教審報告）や、「小学校，中学校，高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録等の改善等について」（平成 31 年 3 月，文部科学省通知）において，評価について，次のように示されました。

【各教科における評価の基本構造】（報告 p. 6, 9 より抜粋）



【各観点の評価について】（報告 p. 7～11 より抜粋）

<知識・技能>

○個別の知識及び技能の習得状況について評価する。

○それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で，概念等として理解したり，技能を習得したりしているかについて評価する。

<思考・判断・表現>

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身に付けているかどうかを評価する。

<主体的に学習に取り組む態度>

①知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で，②自らの学習を調整しようとしているかどうかを含めて評価する。

【評価の場面について】（通知 4. (2) より，下線は本稿にて付加）

学習評価については，日々の授業の中で児童生徒の学習状況を適宜把握して指導の改善に生かすことに重点を置くことが重要であること。観点別学習状況の評価の記録に用いる評価については，毎回の授業ではなく原則として単元や題材など内容や時間のまとまりごとに，それぞれの実現状況を把握できる段階で行うなど，その場면을精選することが重要であること。

また、「各学校において学習評価を行う際の評価規準は、「内容のまとまりごとの評価規準」を基に、学習指導要領解説等を踏まえて作成する」とこととされ、その補足資料として、「内容のまとまりごとのより具体的な評価規準（例）」を作成する手順も示されました。

【第4学年の「内容のまとまりごとのより具体的な評価規準（例）」の概要】

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・(ア)を理解している。 ・(イ)を理解している。 ・(A)について、<u>器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。</u> | <ul style="list-style-type: none"> ・(A)について、<u>既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。</u> ・(A)について、<u>観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</u> | <ul style="list-style-type: none"> ・(A)についての事象・現象に<u>進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</u> ・(A)について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 |

※ (ア), (イ) は、知識に関する内容。(A) は、内容のまとまりにおける学習の対象。下線部は、学年によって表現が異なる場合がある部分。

※ 第4学年の「内容のまとまりごとのより具体的な評価規準（例）」全体は、後掲資料をご参照ください。

②「わくわく理科」における評価規準・評価基準について

令和2年度以降用「わくわく理科」各単元における評価規準・評価基準の具体例は、上記の観点や趣旨に従うとともに、実際の学習活動に即して授業場面内で見取ることができるように、各単元の指導計画に沿った形で作成しましたので、指導の実際に応じて、適宜修正してご利用いただければと存じます。

※「評価規準」の具体例設定にあたって

- 「内容のまとまりごとのより具体的な評価規準」の各項目を、それぞれの実現状況が把握しやすい場面に割り振って、その場面に即した形で作成しています。
- ・「思考・判断・表現」については、その場面で主に育てたい問題解決の力を取り上げて設定していますが、他の力についても、単元全体を通して見取っていただければと存じます。
- 季節に応じた副単元などでは、全ての項目を網羅していない場合もありますが、年間を通して見たときに、漏れないようにしています。
- 「感性、思いやりなど」にあたる目標（自然を愛する心情など）は、評価規準としては設定していませんが、個人内評価を通じて積極的に見取っていただければと存じます。

⇒「評価基準」について

「評価規準」に達している場合がB評価、達していない場合がC評価となりますので、B基準・C基準は例示せず、評価規準をB基準としています。「評価規準」ごとに、「A基準」の例と、「B基準に達していない場合の手立て」の例を掲載していますので、ご参考になりましたら幸いです。

⇒「本時の目標」との対応

それぞれの『時』の「本時の目標」は、指導書の「指導案（研究編）」「朱註のページ（要点編）」に掲載しますが、その内容は、「評価規準」と共通としました。

（指導と評価の一体化に鑑みて、それぞれの『時』に割り振った「評価規準」の内容を、その『時』の「本時の目標」として設定しています。なお、文末表現は、「評価規準」においては「～している」など、「本時の目標」においては「～できる」「～する」などで統一しています。）

（評価について、詳しくは指導書「総説」にも掲載します。）

資料：第4学年の「内容のまとめりごとのより具体的な評価規準（例）」について

【第4学年の「内容のまとめりごとのより具体的な評価規準（例）」の概要】

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・(ア)を理解している。 ・(イ)を理解している。 ・(A)について、<u>器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。</u> | <ul style="list-style-type: none"> ・(A)について、<u>既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を</u>発想し、表現するなどして問題解決している。 ・(A)について、観察、実験などを行い、<u>得られた結果を基に</u>考察し、表現するなどして問題解決している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・(A)についての<u>事物・現象に進んで</u>関わり、<u>他者と関わりながら</u>問題解決しようとしている。 ・(A)について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 |

※(ア)、(イ)は、知識に関する内容。(A)は、内容のまとめりにおける学習の対象。下線部は、学年によって表現が異なる場合がある部分。

【第4学年の「内容のまとめりごとのより具体的な評価規準（例）」】

→青文字は、教科書「わくわく理科」におけるおもな該当単元名

A(1)「空気と水の性質」の「より具体的な評価規準（例）」

→教科書単元名：「5. とじこめた空気や水」

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・閉じ込めた空気を圧すと、体積は小さくなるが、押し返す力は大きくなることを理解している。 ・閉じ込めた空気は押し縮められるが、水は押し縮められないことを理解している。 ・空気と水の性質について、器具や機器を正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・空気と水の性質について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 ・空気と水の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・空気と水の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・空気と水の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 |

A(2)「金属、水、空気と温度」の「より具体的な評価規準（例）」

→教科書単元名：「7. ものの温度と体積」「8. もののあたたまり方」「9. 水のすがた」

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・金属、水及び空気は、温めたり冷やしたりすると、それらの体積が変わるが、その程度には違いがあることを理解している。 ・金属は熱せられた部分から順に温まるが、水や空気は熱せられた部分が移動して全体が温まることを理解している。 ・水は、温度によって水蒸気や氷に変わることを、また、水が氷になると体積が増えることを理解している。 ・金属、水及び空気の性質について、器具や機器を正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・金属、水及び空気の性質について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 ・金属、水及び空気の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・金属、水及び空気の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・金属、水及び空気の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 |

A (3) 「電流の働き」の「より具体的な評価規準 (例)」

→教科書単元名：「3. 電気のはたらき」

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることを理解している。 電流の働きについて、器具や機器を正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 | <ul style="list-style-type: none"> 電流の働きについて見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 電流の働きについて、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 | <ul style="list-style-type: none"> 電流の働きについての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 電流の働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 |

B (1) 「人の体のつくりと運動」の「より具体的な評価規準 (例)」

→教科書単元名：「6. ヒトの体のつくりと運動」

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 人の体には骨と筋肉があることを理解している。 人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによることを理解している。 人や他の動物について、器具や機器を正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 | <ul style="list-style-type: none"> 人や他の動物について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 人や他の動物について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 | <ul style="list-style-type: none"> 人や他の動物についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 人や他の動物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 |

B (2) 「季節と生物」の「より具体的な評価規準 (例)」

→教科書単元名：「1. 春の生き物」「夏の生き物」「秋の生き物」「冬の生き物」「生き物の1年間」

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 身近な動物や植物について、器具や機器を正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 | <ul style="list-style-type: none"> 身近な動物や植物について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 身近な動物や植物について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 | <ul style="list-style-type: none"> 身近な動物や植物についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 |

B (3) 「雨水の行方と地面の様子」の「より具体的な評価規準 (例)」

→教科書単元名：「地面を流れる水のゆくえ」

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 水は、高い場所から低い場所へと流れて集まることを理解している。 水のしみ込み方は、土の粒の大きさによって違いがあることを理解している。 雨水の行方と地面の様子について、器具や機器を正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 | <ul style="list-style-type: none"> 雨水の行方と地面の様子について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 雨水の行方と地面の様子について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 | <ul style="list-style-type: none"> 雨水の行方と地面の様子についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 雨水の行方と地面の様子について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 |

B（４）「天気の様子」の「より具体的な評価規準（例）」

→教科書単元名：「2. 天気と1日の気温」「10. 水のゆくえ」

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・天気によって1日の気温の変化の仕方に違いがあることを理解している。 ・水は、水面や地面などから蒸発し、水蒸気になって空気中に含まれていくこと、また、空気中の水蒸気は、結露して再び水になって現れることがあることを理解している。 ・天気や自然界の水の様子について、器具や機器を正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・天気や自然界の水の様子について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 ・天気や自然界の水の様子について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・天気や自然界の水の様子についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・天気や自然界の水の様子について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 |

B（５）「月と星」の「より具体的な評価規準（例）」

→教科書単元名：「夏の夜空」「4. 月や星の動き」「冬の夜空」

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・月は日によって形が変わって見え、1日のうちでも時刻によって位置が変わることを理解している。 ・空には、明るさや色の違う星があることを理解している。 ・星の集まりは、1日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解している。 ・月や星の特徴について、器具や機器を正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・月や星の特徴について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 ・月や星の特徴について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・月や星についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・月や星について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 |